

生育は順調！茎数が増えすぎないように注意！ 遅れない中干しと中干し終了後の適切な飽水管理の徹底を！

1 現在の生育状況と6月の気象予報

- ・5月上中旬田植えの稲の生育は、一部で風の影響が見られたものの苗の活着は平年並で、田植え後の生育も概ね順調に推移しています。
- ・1か月予報（5月14日新潟地方気象台発表）によると、6月の平均気温は平年より高くなる見込みです。また、3か月予報（5月19日新潟地方気象台発表）によると、7月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年より高いと予報されていることから、草丈が伸び倒伏につながる危険があるため、中干しによる生育調節が重要です。
- ・茎数過剰を防ぎ、稲体を強くするために、適期の中干しと中間追肥を実施しましょう。



2 中干し・溝切りの実施 ※水不足の恐れがある地域は、水の確保状況に合わせて中干しの実施を判断してください。

(1) 中干し・溝切りの効果

- ・中干しは、稲の窒素吸収を抑制し、無駄な分けつの発生を抑えることで生育を適正化し、登熟を良くします。さらに土壌中のガス抜きと酸素供給効果により、根張りが良くなり高温に強くなります。
- ・中干しを適期にしっかり行うことは、温室効果ガスの発生を抑えることにもつながります。
- ・溝切りは、ほ場の排水を助けるだけでなく、フェーン等異常高温時の迅速なかん水にも役立ちます。



(2) 中干しのポイント

開始時期：茎数が目標穂数の7～8割になる頃が目安。

高温等で茎数が増えすぎる恐れがある場合は、早め（茎数が目標穂数の6～7割頃）に中干しを開始する。

〔移植後30日の茎数が目標穂数の6割以下の場合、開始時期を最大5日間遅らせる〕

目安の茎数：コシヒカリBLの目標穂数350本/m²の8割は280本/m² → 1株当たり14～17本

干す強さ：田面に小ヒビが入る程度（大ヒビにはしない）

終了時期：ほ場の中央部まで小ヒビが入った時期〔遅くとも出穂の30日前（目安：5/15頃の田植えの場合は7/4頃）〕

中干し開始の目安

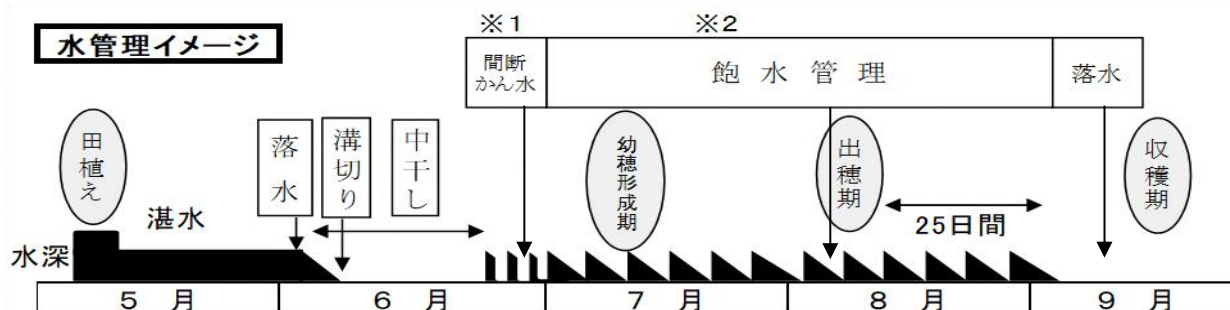
- ・田植え後25日頃に茎数を確認し、田植え後30日をめどに開始する。
- ・平坦地で田植えを遅らせた場合も、田植え後25日までは確認し、中干しが遅れないように注意する。

(3) 溝切りのポイント

- ・8条から10条に1本程度の間隔で、深さ10cm以上の溝を切りましょう。排水の悪いほ場は、溝を切る間隔を狭くすると効果的です。
- ・表面水がしっかり排水されるように、溝と水口・水尻を確実につないでください。

(4) 中干し後の管理

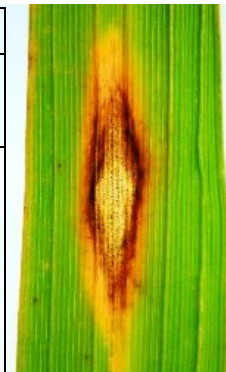
- ・中干し終了後は浅水で間断かん水を行い、徐々に飽水管理へ移りましょう。
- ・水はげが悪いほ場は、間断かん水を続けましょう。



※1 間断かん水：湛水状態と落水状態を数日間隔で繰り返す。※2 飽水管理：水尻を止め、足跡の底に水がたまる程度まで減ったらかん水する。

3 病害虫と除草対策

畦畔除草	・カメムシ等が増える雑草地の草刈りを行うことで、カメムシ等の被害を減らせます。
水田内の雑草対策	・中干し以降の雑草が多くなると、収量が減ったり斑点米が多くなったりするため、雑草が残りそうな場合は、中・後期除草剤で除草を行いましょう。
いもち病対策	・コシヒカリBL以外の品種やコシヒカリBLでも葉いもちの発生が例年目立つ水田で、箱施用剤を使っていない場合は、6月15日頃に水面施用剤を散布しましょう。 ・補植苗はいもち病の発生源になりやすいので、置いたままにせず、早急に撤去しましょう。 ・6月下旬以降、 <u>下葉をよく確認し、右のような斑点が見られた場合は、下記に連絡してください。</u>



いもち病の病斑
・葉脈の向きに沿って、ひし型～紡錘型の斑点が出る
・中心から灰色、褐色、黄色となるものが多い



4 中間追肥

- ・ケイ酸には「稲体を固くすることによる倒伏軽減・病虫害予防」、「水分吸収力の向上による高温被害軽減」の効果がありません。
- ・出穂40日前頃（5/10頃植えコシヒカリBLでは6月下旬がめやす）にケイ酸資材の追肥を行い、稲の活力を高めましょう。

～資材例～

資材名	10a 当たり施肥量	備考
スーパーシリカプレミアム	20～40kg	ケイ酸30%

<h2>『収量・品質向上！糸魚川産米』</h2> <p>「コシヒカリBLEコライス栽培」に取り組みましょう。</p>	<p>お問い合わせ先</p> <p>JAえちご上越ひすい営農センター TEL 0120-640-184 糸魚川NOSA Iセンター TEL 0120-916-406 糸魚川地域振興局農林振興部 TEL 553-1906 (農業普及指導センター)</p>
--	--